



# 明野ヶ原通信



発行/令和8年(2026)3月1日

発行所/明野高校同窓会  
伊勢市小俣町明野 1481

編集/新聞発行委員会  
(株) アイブレン

題字: 元明野高校教諭 工藤俊朴氏



## 生産科学科

昨年度より、生産科学科作物専攻生の現3年辻井悠斗を中心としたメンバーで試験栽培を開始しており、今年度は、伊勢たくあんの製造に詳しい伊勢岩尾食品様監修のもと、へんばや農園の圃場をお借りし、生徒が自ら御菌大根の栽培・管理・収穫・調整に挑戦しました。

生徒は、伊勢たくあんという地域伝統食品のことを学ぶとともに、「稲架掛け」という伝統手法を1から主体的に体験実習を行いました。12月には、伊勢岩尾食品様の指導の下、乾燥させた大根の漬け込み作業を行いました。

今回漬け込みを行った御菌大根は、3年後に伊勢たく

あんとなり、商品化を目標としています。今年度は、昨年栽培を行った大根の「丸干し」や、今年度栽培した大根の間引きを行い、無駄にしないため「大根菜の浅漬け」を商品化し、販売を通してPR活動を行いました。

また、伊勢の地で生まれ育った生徒が中心であるため、「御菌大根や伊勢たくあんにおける活動を後輩たちに繋いでいきたい」と話しており、後輩のことや将来のことを考える機会になるとともに、主体性や職業観を身につけることができましたと感じました。



稲架掛けの実習の様子



## 米の豆知識

同窓会会長  
谷口 佐富

同窓会の皆様には、日頃から同窓会活動にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。同窓会活動の中心となっていました同窓会新聞については、令和6年度から全員配布を取りやめ、明野高等学校のホームページを活用させていただき開示することとなりました。引き続き紙面での配布を希望されます方については、令和7年度の新聞から対応させていただきたいと思っております。

新聞発行事業の経費を見直すことによって捻出しました予算は、学校活動の支援に活用し、母校の発展に寄っていきたく考えています。

さて、私は農業科で学びましたが、「食べることは人にとって生命を継ぐ一番大切なこと」で、そのことを学べた高校生活3年間でした。農業は土を耕し、水の恩恵を仰ぎ、食料を生産し生命を育む活動です。このような学習ができたことを誇りにして、日々生産活動(米作り)を行っているところです。令和6年の秋以降「令和の米騒動」が始まり、米価格の高止まりが続いております。米に関することが注目されていることから、米の豆知識を皆様に紹介した

いと思っております。

本県の南勢地域における米栽培は3月下旬に種まきを行い苗を作り、4月中旬に田植え、7月上旬には穂が出て、8月中下旬に稲刈りを行うのが一般的になっています。田植えの際の稲の苗は1株当たり3-4本を植え付け、約40-50日で苗1本当たり4-5本に分げつします。1株で約20-25の穂が出て(1穂当たり70粒)約40-50gのもみ(粳)が収穫(玄米換算で茶碗1杯分)できます。通常3.3㎡(1坪: 畳2畳分)に40-45株の苗を植え付け約1.8kgの玄米が収穫できることとなります。(10a当たり玄米500-540kg)

現在の米づくりは温暖化の影響により、収量や品質の低下を招き以前のように安定した米づくりは困難となってきました。日本人の主食である米は安定した生産により、消費者の理解が得られる価格で安定的に供給できる仕組み作りを早急に確立することが望まれています。

三重県で一番広大な敷地を持つ明野高校で農業の学びをした私達にとりましては、身近に起こっている米に関するこの状況を周りの人たちにも伝えられるようにしていきたいものです。

最後になりますが、同窓会の運営は卒業時の同窓会入会金と皆様からの賛助金で行っています。同窓会の財政が逼迫している中、引き続き賛助金への協力をお願い申し上げます。



## 地域とともに成長する 明野高校を目指して

学校長  
橋本 昌幸

同窓会の皆様には、日頃から本校の教育活動の推進に、物心両面から温かいご支援いただいておりますこと厚くお礼申し上げます。今年度も、満開の桜と満面の笑みの生徒、そしてやる気に満ち溢れた教職員と船出をし、四季の移り変わりと同じように生徒が成長を続けていることをうれしく思います。

さて、この三重県立明野高等学校は、今年度、創立146年を迎える歴史と伝統を持つ農業、衣・食、福祉の専門高等学校です。地元企業の皆さま等にも積極的な協力をいただきながら、明野高等学校ならではの、取り組みを一層充実させているところです。それぞれの分野で最新の学びを生かし、一層輝けるよう努力を重ねているところです。今年も農業分野では未来を拓く農業モデルと言われるGAPの充実、家庭クラブでは全国家庭クラブ研

究発表会の開催やホームプロジェクト学習で県最優秀賞の受賞、そして、福祉科では介護技術コンクールにおいて県最優秀賞の受賞など県下の生徒をリードしながら積極的な取り組みが見られたことをうれしく思っています。また、野球部は2年連続で夏の大会でベスト8入り、相撲部とボクシング部においては、全国大会へ出場することができました。今後の活躍にもご期待ください。

話は変わりますが、今年度の“おばた運動会”に運営を手伝う形での参加をさせていただき、単なるお客さんではなく、地域の皆さんをおもてなしする心を養うことができたと思います。ここになくはない学校になってきていると実感うれしく思います。校歌に「ここに学びて 新しき 世代の光 ~ 努め究めむ我等が希望」とありますように、生徒一人ひとりがこの地で自ら考え、挑戦し、創造し、地域とともに成長し続けていけるよう教職員一同全力で支援をしていきたいと考えています。

今後も明野高等学校の教育振興のため変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。同窓会の皆様の益々のご健勝をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。



## 諦めなければ、夢は叶う

～ Weed Spirit ～

谷口 翔汰

経済科 平成21年度卒 静岡県在住

私は今、静岡県立袋井商業高校にて商業科の教員として働いている。今年度は3年生の担任として卒業生を送り出す準備の最中である。また、夢であった高校野球の監督もさせていただき非常に充実した毎日を送っている。平成21年度に明野高校経済科を卒業し、大学野球をするために県外の大学へ進学した。静岡県内の私立の教員、公立高校の実習助手を経て、静岡県からの採用を頂き静岡県で教諭となった。

これだけの情報では、「高校時代から勉強ができたのだろう」と思う人が大半だと思う。一般的に教員になる人の大多数は勉強が得意で優秀な人ばかりだからだ。でも、私は全く違う。小学生、中学生の頃から勉強は苦手で、やる気もなかった。

私の高校時代、野球部に所属。主将も務めさせて頂き、野球はそれなりに頑張っていたものの勉強は全くやる気はなく、成績はいつも下位(約200人中150位以下。180位くらいのとときもあった)。商業科目の成績で「1」があり保護者を呼び出して指導を受けたこともある。それでも

「高校の先生になって野球部の監督になりたい」と夢は持っていた。1年生から卒業まで3年間お世話になった野球部の顧問で、当時の担任(石田貴弘先生)が、成績の悪い自分に「諦めなければ、夢は叶う」と真剣に言ってくれていた。

高校卒業後、勉強が苦手な私は大学に進学するも単位を落とし、商業の教員免許は取得できなかったため、一般企業に就職。それでも私は先生になることを諦めなかった結果、約8年かけて教諭となった。この8年間にも書ききれないほどの様々な障壁を乗り越える必要があったが、教員になるという夢を叶えることができた。また、高校野球の監督もさせていただき、もう一つ夢を叶えることができた。石田先生の言う通りで「諦めなければ、夢は叶う」が現実となった。

明野高校野球部のTシャツの背中には「Weed Spirit」と書かれている。野球部の卒業生として、私はこれからも雑草のように踏まれても何度も立ち上がる。どんな逆境に負けず、ひたむきに努力を続けていきたい。

明野高校の同窓生をはじめ、在校生、教職員の方々には、明野魂が宿る「袋井商業高校野球部」の結果を気にかけていただければ幸いです。

石田先生が言ってくれた「諦めなければ、夢は叶う」は、私が身をもって証明します。



## 我が青春に悔い無し

黒川 要(旧姓 奥本)

家庭科 昭和37年度卒

京都府在住

明野高校3年間は生涯の友に恵まれ仲間にはげまされ…正に照り映ゆる桜の花の香にみちて色も新し…その後の波乱万丈・紆余曲折に於いては、明野<sup>たましい</sup>魂を力と頂いての現在ですが、学生時代はかなりの「困ったちゃん!?!」…恩師中谷・中西・浦田先生の熱血ご指導にも報えず!…追試の折には級友をハラハラさせ…etcetc…そんな当時の全ては桜明寮での生活に有り先輩諸氏の叱咤激励のおかげで今です。

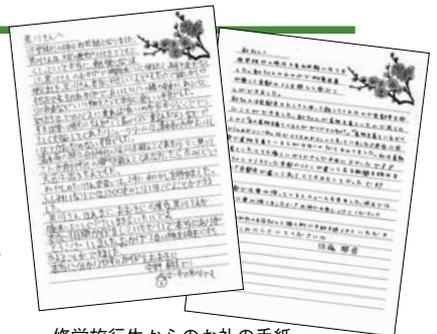


桜明寮の仲間



応援団の頃

巡りめぐって現在は、「京都観光案内」。中でも修学旅行案内にはライフワークの着物姿で“おこしやす”<sup>みやび</sup>令和雅の古都での思い出作りにはりきっております!!



修学旅行生からのお礼の手紙

卒業直後、時の校長先生がおっしゃられた“貴女がいなくなった学校は火が消えたようです”!?!をはなむけと勘違いしたまま…広らなる明野ヶ原にあふるるや朝の輝き…明日にはく音に目覚め夕べに松籟に眠る校歌と寮歌を大声で歌えば明日に向かえます。



修学旅行生と共に

この度は何にも勝る好機を頂きお礼申し上げます。思い出と思い出は溢れんばかりにして!!まとめるのに困りました。拙き事お許し下さいませ。

## 食品科学科

食品科学科では、令和4年度より横輪町活性化委員会・伊勢市産業観光部と連携し、横輪町のPRを目的とした活動に取り組んでいます。今年度は3年生5名で、特産品である横輪芋を活用した新たな商品づくりとして、横輪芋パウダー入りパウンドケーキの開発に挑戦しました。粘りや風味を生かすため、配合量や製法を工夫しながら試作を重ね、横輪芋らしさを感じられる美味しいパウンドケーキに仕上げることができました。完成したレシピは、八昇製菓株式会社のご協力により商品化されました。11月15日・16日にイオン伊勢店で販売を行い、2日間で200本以上が購入されました。さらに、11月30日にザ・オレンジガーデン五十鈴川をメイン会場として開催された「おかげさまマルシェ」では、販売開始から数



時間で100本以上が購入されるなど、多くの方に好評をいただきました。今回の取り組みを通して、横輪町のPR活動に貢献でき、3年生は大きなやりがいを感じることができました。

生徒が活躍  
しています!

# 地域連携の取り組み



福祉科では昨年度・今年度、文部科学省「マイスター・ハイスクール普及促進事業」に取り組み、地域連携と課題解決をテーマに活動しました。本事業は産業界と専門高校の協働による人材育成を目指すものです。子どもゼミでは地域と高校生が協力し、他学科の力も借りて子ども食堂を開催。地域福祉ゼミは引きこもり支援、高齢者ゼミは認知症支援、障がい者ゼミは施設と連携した

ファッションショーを実施しました。

さらに魅力発信ゼミではポスターや動画制作、スマート福祉ゼミではDX・ICTを活用した解決策を検討するなど、多様な分野で地域課題に挑戦しています。今後も校内外の連携を深め、地域に根差した福祉科を目指してまいります。

## 福祉科



校内（福祉演習室）で子ども食堂を行っている様子。「おかわりいる人ー？」の写真

## 生活教養科

日頃より教育活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。今年度も生徒たちは多くの挑戦を通して成長し、成果を上げることができました。これも保護者の皆様、地域の皆様の温かいご支援のおかげです。

3年生調理コースでは、今年度から新たに「総合調理実習」を設け、集団調理について学び始めました。授業の一環として、生産科学科で育てられた規格外のシャインマスカットをゼリーに加工し、暑い中販売所に足を運んでくださった地域のお客様に販売しました。準備したマスカットゼリー 50 個は、なんと 15 分で完売し、多くのお客様に喜んでいただくことができました。外部販売は初めての経験でしたが、一つひとつ丁寧に心を込めて作り上げることができました。その後の校内販売実習では、自分たちで作ったものを販売するにあたり、大きさをそろえることや衛生面への配慮など、普段の調理実習では気づきにくい点を学ぶことができました。



このような取り組みを通して、生徒たちは単に調理技術を習得するだけでなく、お客様に商品を提供する責任感や、仲間と協力して作業を進める協調性、そして改善を重ねることで成果を高めていく力は、今後社会に出てからも大きな財産になると考えています。今後もこの経験を活かし、さらに質の高い学びへとつなげていきたいと思ひます。

## クラブ紹介

# 農業クラブ

顧問 竹村 保範

農業クラブは、全国の農業学科で組織されています。『科学性』・『社会性』・『指導性』を身につけることを目標に、日々の学習に加え、様々な競技会への出場など、明野高校農業学科の生徒たちは積極的に農業クラブ活動に取り組んでいます。意見発表会では、今年度農業クラブ会長を務めている3年1組の辻井悠斗さんが1年生の時に東海ブロック大会優秀賞を受賞。昨年度は3年2組の西井真央さんが三重県大会優秀賞を受賞。今年度は3年1組の田中陽向さんが三重県大会最優秀賞を受賞しました。プロジェクト発表会では毎年、県大会で優秀賞以上を受賞する活躍をしています。他にも農業鑑定競技会や家畜審査会においても輝かしい結果を残しています。明野高校生は素



FFJのマークと  
鶴翼の飛翔



左端 辻井さん

晴らしい可能性を秘めています。私はこのように何事にも積極的に学ぶ姿勢を見せる生徒たちが大好きです。

農業学科の同窓生の皆さん、『FFJの歌』を覚えていらっしゃいますか？現在も生徒たちはFFJの歌を精一杯歌っています。1番だけですが『FFJの歌』の歌詞を書いておきますので、学生時代を思い出して歌ってみてください。

『みのる稲穂に 富士と鳩 愛と平和を 表わした  
旗はみどりの 風に鳴る  
土にとりくむ 若人の 意気と熱とが もりあげた  
FFJ FFJ われらの誇り』

今後とも明野高校の教育活動に、ご理解ご協力の程、よろしくお願ひいたします。



# 明高 短信



## 12月19日、22日 冬季クラス マッチ



11月13～15日

## 明高祭



### 令和6年度 職業別就職者数

	研究・技術の職業	専門的職業	事務的職業	販売・営業の職業	福祉・介護の職業	サービスの職業	農林漁業の職業	製造・修理・塗装・製図等の職業	建設・土木・電気工事の職業	合計
生産科学科	0	1	0	3	0	5	3	16	0	28
食品科学科	0	1	1	2	0	3	0	11	0	18
生活教養科	0	1	1	0	0	4	0	4	0	10
福祉科	0	0	1	1	3	1	0	4	0	10
合計	0	3	3	6	3	13	3	35	0	66

(縁故就職・自営も含む)

### 令和6年度 進路状況

	性別	人数	進学			就職	その他
			大学	短大	専門学校		
生産科学科	男	18	5	0	1	12	0
	女	22	1	0	4	16	1
食品科学科	男	13	3	0	6	4	0
	女	27	3	4	6	14	0
生活教養科	男	1	0	0	0	1	0
	女	37	2	5	19	9	2
福祉科	男	8	1	0	4	3	0
	女	31	9	7	8	7	0
男子合計		40	9	0	11	20	0
女子合計		117	15	16	37	46	3
合計		157	24	16	48	66	3



29期生(S53年度卒)園芸科同窓会  
太極殿 13名参加



28期生(S52年度卒)プチ同窓会  
料理旅館おく文 12名参加

思い出話に花が咲く  
同窓会



19期生(S43年度卒)同窓会  
伊勢シティホテル 41名参加  
代表 廣垣様



34期生(S58年度卒)有志プチ同窓会  
さかえ 10名参加



34期生(S58年度卒)保育科同窓会  
プーラヴィーダ 12名参加

令和7年度 賛助金ご協力の方々

令和6年12月11日～令和7年12月13日まで

お振込順、お振込いただいたお名前前で敬称略にて掲載しています。

日置 多門	濱(濱) 田 和	辻村 健	乾 愛子	山本 恵子	古庄 敏子
竹内 もと子	渡邊(邊) 稔	長谷川 良和	中西 長一	辻 幸一	広 啓司
梶野 政男	田所 角雄	藤本 昭祝	田中 多恵子	長澤 弘晃	千代田 幸
小林 清彦	村田 千代子	飯島 桂子	辻 正彦	中尾 和廣	高橋 信雄
北村 幸成	早川 のぶ	数谷 由紀子	藤岡 美陽	舌古 傳夫	田端 好司
中山 壽子	黒川 要	岩尾 昇平	西尾 佳洋	楓井 礼子	難波 洋子
山本 絹子	田端 孟雄	天命 純子	伊藤 秀代	中森 正和	中桐 悦子
加藤 束	菊本 保一	川島 興司	河上 真也	上井 みのり	東 由佳
北西 修	藤川 宜孝	出口 隆弘	山川 みよか	井戸本 美恵子	森川 正弘
西村 隆	橋爪 美弥子	福田 喜三	村田 昭嘉	山中 弘行	山口 治秀
小牧 洋介	野村 和子	佐藤 孝子	佐田 恵美子	田口 恵香	中谷 康夫
森田 和夫	城山 司	高木 賢文	加藤 多喜子	西口 好一	黒越 睦子
大幡 恵津子	石井 壺恵	浜口 邦博	稲垣 美保	晋川 ひとみ	北村 行幸
柳谷 亘	鈴木 良一	小田 晴久	松本 晃美	井村 幸枝	東浦 宏幸
白水 正治	宿茂 幸一	鈴木 廣己	田中 祐治	松岡 雅子	西 真弓
西山 昌子	阪村 章	小田 有美子	長谷川 うた子	関野 寿美子	北河 新松
岡山 成樹	河井 美明	林 景一	桜本 耕一	木村 吉孝	シモムラ ヨシオ
岡谷 昌行	矢口 紀子	川上 千賀	龍田 正一	早川 鈴子	トンベ オサム
坂村 正司	井上 芳江	西井 俊	森 美夏	早川 繁一	イズミ ハジメ
中村 賢二	前川 隆	富田 真智子	中西 保之	落合 清美	ヤマダ ミエコ
島田 秀一	谷川 充	中井 恵美	小林 裕	信藤 達仁	明高19期生(昭和
高橋 正俊	山村 陽子	塩谷 泰子	高橋 洋子	大西 正義	43年度卒)同窓生
山本 敬子	阿部 純子	竹内 喜文	高木 市郎	堀口 久生	(41名)一同
奥野 長衛	小林 禧郎	福田 公代	今井 和子	岡田 耕児	
山本 次枝	小山田 文彦	奥野 洋子	中谷 和生	中北 隆也	ご協賛ありがとう
谷口 佐富	稲葉 ヤヘ子	村田 たづ子	神田 和子	松田なつ子・伸夫	ございました。
小林 政弘	野中 穂積	水野 晴美	木下 薫	伊藤 雅人	(177名)
松本 憲一	前田 智哉	太田 悠美	森 隆司	堤 義人	
堂岡 まきこ	奥田 謙	岡村 文夫	野村 寿夫	泉 浩之	
安達 要吉	山口 政司	阿部 ヒロ	山口 隆	富安 奏等(2回)	
草深 里佳	掛橋 洋	松田 師江子	辻村 好正	金高 秋夫	

賛助金納入のお願い 同窓会活動費は、卒業される生徒の入会費と、皆さまからの賛助金でまかなわれています。しかし、年々生徒数が減少し、予算立てが困難となってきています。一口千円から納入いただけますのでご協力のほど宜しくお願い致します。

お近くの『郵便局』『ゆうちょ銀行ATM』からの振込、又は銀行振込でお手続きできます。

郵便局  
ゆうちょ銀行ATM

振替口座：00840-7-120978  
口座名義：明高同窓会新聞発行賛助金  
通信欄に卒業年度、学科をご記入ください。

銀行振込

百五銀行宮川支店 普通 0000919  
口座名「ミエケンリツアケノコウトウガッコウドウソウカイ」



## 昨年(令和7年度)の 総会&パーティー報告

令和7年6月7日(土)

- 総会/明野高校会議室
- パーティー/海恵の宿 食遊人

総会、懇親会には35名近い方々が参加され、旧交をあたためました。



旧友も同窓会にいこう!

## 令和8年 総会のご案内

とき 令和8年6月13日(土)

- 総会 午後2時半~4時 明野高校会議室
- パーティー 午後5時~7時半  
料理旅館おく文 ☎0596-28-2231  
会費 6,000円

締め切り日 令和8年5月20日(水)

出席をご希望の方は必ず締め切り日までにFAX(0596-37-4127)でお申し込み下さい。



2月27日(金)、同窓会入会式を執り行い、令和7年度卒業生154名が入会しました。

式では谷口同窓会長より、卒業生へ温かいお祝いの言葉が送られました。会員の皆さまよろしくお願いたします。



### 編集後記

「令和の米騒動」に沸いた昨年、私もこの齢になり初めて田植えを経験しました。現場で田植えを指導していただいた86歳のおじいちゃんに「お茶わん1杯のお米は、苗何本ですか?」と質問。苗50本くらい?とっていると、「答えは3~4本やな。土泥に今まさしく植えた本数でした。こんなに少ない本数で命を繋げたり、食することでこんなにも幸せになるのかと...知らずにいた私は何とも恥ずかしい気持ちになりました。それからというもの、車道を走り赤信号で停まると、横の田んぼをのぞきこむようにもなりました。水入れ、あぜ道、早苗の色、穂の成長...今まで普通に見ていた景色がキラキラとして楽しみになりました。

高校時代の保育実習で5歳児に日本昔話の読み聞かせをしました。江戸時代の実話で、重い病気の娘に栄養をつけるため、蔵に泥棒に入り、処罰された父親の話です。題名は「たった1杯の茶碗飯」...このことを思い出しました。これから何を大切にしていかなければならないか、どうしていかなければならないか...農業高校で学んだことを誇りに子供や孫にも話し続けていきたいと思っています。

私たち新聞委員は、可能な限り同窓生の先輩や後輩の方のためにこれからも母校の現在の様子、昔懐かしい風景や思い出を本誌をもって繋げてまいります。今後ともご協力のほど宜しくお願い致します。

## 第11回 同窓の杜落ち葉掃き

令和7年12月13日。寒空の中、17名ほどの同窓会員が集まり、2時間ほどで綺麗にして頂きました。次回開催時には皆さまのご参加お待ちしております。

次回は令和8年12月12日(土)9時から行います。

